

# 平成 22 年度第 2 回新発田市新庁舎建設構想等策定委員会議事要旨

日時：平成 22 年 8 月 10 日（火）

19：00～20：30

場所：市庁舎 2 階 第 2・3 委員会室

## 出席者

委員：13 名

市職員：総務部長、総務課長、新庁舎建設室 5 名

傍聴者：9 名、報道関係者：4 名

## 配布資料

- ◆ 委員会次第
- ◆ 委員会資料

## 1 開 会

## 2 議 題

### (1) 基本構想の策定について

#### (事務局)

しばらくの間、会議を開けなかったので、スケジュールを変更させて頂きたい。

～ 資料に基づきスケジュールの説明 ～

策定項目について、前回も大まかな項目を示したが、基本構想の章だてを示す。

～ 資料に基づき策定項目の説明 ～

第 1 回目は論点があはつきりしなかったので、基本構想の章ごとに検討表を作成した。これに基づいて議論して頂きたい。

～ 資料に基づき検討表の説明 ～

#### (委員)

新庁舎の位置や規模を既成事実として承認を求めたいという意向が、最初に出てしまっている。本来であれば、基本的な考え方をしっかりとまとめた後で、次に位置や規模が出てくると思う。どう進めていくのか。

#### (委員長)

今日、位置を決める考えはない。あくまでも事務局案に意見をもらう形。この案の前提は、第 1 回目の市長挨拶にあった、現庁舎周辺が望ましいという事から出てきたと認識している。

#### (委員)

11 月に市長選挙があるが、それに関わらず、このまま進めていくのか。

#### (事務局)

選挙後にそれまでの協議内容を市長に報告し、検討過程を踏まえて方針を決定していき

たい。

(委員)

私共の協議が無駄にならないようになる事を願います。

(委員長)

委員から、こういう意見があった事を厳粛に受け止めて、少なくとも現市長の下では、予定どおり進めていく。

只今、提案のあったスケジュールと策定項目について、事務局案で進めてよろしいか。

～ 事務局案の承認 ～

## (2) 新庁舎建設にかかる基本的な方針について

(事務局)

～ 資料に基づき説明 ～

(委員)

基本的な考え方をしっかりした後で、今の提案でいいかという事であれば理解できるが、この場所しかないという段階で如何かと言われても検討できない。結果的にこの場所になるかもしれないが、広く位置等を検討する責任が、我々委員会にはあると理解している。

我々委員会で、その事を比較検討した結果、ここがいいという結論を出さない限り、この委員会の意味がない。市民に対して責任が果たせない。この委員会に対する姿勢を、我々は今考えなければならない。

(委員長)

通常、新庁舎を建てる時は、新庁舎にどんな機能を持たせて、どれくらいの規模の建物を、どこに建てるかという順で検討して、位置の選択になる。今、事務局案から勢い位置の事が出ているので、位置が先に決まると思われるかもしれないが、位置をこの委員会ですぐに決めるとは考えていない。何通りかの案の中から絞り込まれていく。その過程で、新庁舎にどんな機能を持たせるかも並行的に検討していく。

(委員)

市役所とは何かと考えた時に、町のシンボリックな機能。それ以外は、ほとんどが事務室で、サービス・接客、議事堂などの複合施設が市役所である。対外的な接客の場所は必要だし、シンボリックな機能は否定しない。新発田らしい派手ではないけれども、実質的でどこか心をくすぐる建物であってほしい。

市役所は必ずしも象徴的で大き過ぎるものではなく、中心的な場所に必要かもしれないが、部署が縦に展開するのではなく、横に展開する事が必要である。

集中方式と分散方式が資料-5にあるが、これが非常に興味深い。ワンストップになれば、たらい回しにならずに手続きができるかもしれない。ただ、ワンストップにした場合、異常に駐車場が必要になる。適度な大きさのコア、シンボリックなもの、現状を踏まえながら、その辺を詰めていけば答えが出てくる。

駐車場不足の問題も集中と分散が裏表で、集中にした場合×、分散にすると○。職員の移動ロスも集中にしたら○だが、分散にしたら×。ところが、地域のにぎわいは逆転する。つまり、330人の職員が動く事によって、その周りのお店が活性化する。この辺を詰めて全体を見ていけば、自ずと答えが出る。トータルで考えないと答えが出ない。

(委員)

財政は61億以内だとか、パターンは3方式あるだとか、事務局から説明があったが、今、ここで何を決めるのか。

(委員長)

これを決めるというのではなく、こういう考えの下で基本構想を作ってはどうかという押さえをしようとしている。

(委員)

現庁舎周辺の案が出ている。委員会で賛成した場合、ここで建つ事にならないのか。時期尚早だと思う。順番が違うのではないか。果たして、そういう議論でいいのか。

(委員)

最初に位置ありきの議論になっているが、取り掛かりのやり方としてはいいと思う。位置はどこが適切か考えたが、市の各種計画を見ると、消極的だが現庁舎周辺しかないという印象である。

新しい場所について議論を始める事になると、中心市街地活性化計画など、他の計画との整合性や、それを見直すところまで踏み込む事にもなる。そこまでやっていいのか。様々な計画がある中で、この枠内で新庁舎が建設できるのであれば、現庁舎周辺でいいと思う。

想定規模が10,000㎡～11,000㎡で、現庁舎周辺に上手く当てはまる。事務局案の現施設を活用した段階的に集約する方式にならざるを得ないのではないか。

(委員)

位置については、メリット・デメリットの単純な評価である。感覚的にここがいいと思い始めているが、他の場所もあるので、様々な評価項目を挙げた上での候補地一覧表を作成して、誰もトータル的にはここがいいと言えるような資料であれば、分かり易いと思う。

(委員)

今の意見だと、会議がまた振り出しに戻る。商工会議所から示されたものもある。商工会議所の土地まで全部使えるなら、かなり大きいものが造れる。市の財政を考えた時に、ここなのだろうと考える。

## (2) 各種団体からの提言・要望について (報告)

(事務局)

～ 資料に基づき報告 ～

商工会議所から示されたパースは、具体的な計画ではなく、将来的なイメージ図である。市役所と図書館の間の市道は廃止して、構内道路的な位置付けと聞いている。商工会議所の土地は大変有効と考えるが、土地を取得して一体的な開発をするという結論には至っていない。

(委員長)

現庁舎周辺以外の土地となると、新庁舎建設構想等策定委員会関係綴の資料1-1にあるとおりで、事によると、これらの場所も候補に挙がってくる。検討した結果として評価してもらわなければならない。

位置を限定して、委員会で決めるのではなく、幅を持って候補をいくつかに絞り込むのが、委員会の持って行く方向と考える。

(委員)

中心商店街や新道が近いこと。商工会議所も含め働いている人の購買活動も非常に大事で期待している。中心商店街から離れていく事になると、集客力のようなものがなくなるというイメージで、現庁舎周辺にあるべきだと考える。

(委員長)

事務局案をベースに、具体的な内容を検討していつてはどうかと考えるがどうか。

(委員)

位置はこの場所が最適だと思う。市民は、市役所はこの場所にあるという前提のようで、何人かに聞いたが、今あるところが一番相応しい、そこにあるべきだという考えの方もいた。

(委員)

カルチャーセンター周辺がいいと思う。駅や病院にも近く、救急の関係で道も良く、駐車場も一杯ある。中心市街地よりもいいと思う。

(委員長)

新庁舎に関する市民アンケート結果を見ると、どういう手段で市役所を訪れたか、年に何回訪れるか結果が出ている。年に1回来るという方が75%、年に5・6回という方が11%くらい。その交通手段は自家用車が83.3%。電車という回答はない。交通手段の変化を考慮して、駅から歩ける距離に拘って、今あるものを失う事がないようにすべきである。

(委員)

今の場所は悪くないと思うが、今それを決定するのは早いと思う。

シンボリックでコアになる市長室などはここにあるべきで、それ以外が分散したらどうか。

市役所の1階に500分の1の中心市街地の立体模型が展示されている。市役所の部署・事務所ごとに1つの塊で表して、機能によって色分けする、縦に積んだらこんなビル、横に配置したらどうだとか、やってみたらいいと思う。これだけの大きなプロジェクトなので、徹底的にやるべき。その中で、いくつかの可能性に限られてくると思う。まだ答えを出すのは早い。いくつかの選択肢を出しても、まだ早いし、分析が足りない。

少子高齢化で10年・20年後の交通手段はどうなるのか。コンビニや宅配便と結び付けて、取り寄せればいいという考えもあるが、私は反対で歩ける街であるべき。中心市街地に高齢者が住み、郊外に若い人が住むイメージだが、もっと検討した方がいい。

(委員長)

「歩ける街」という事だが、私も学生と新発田市が取り分け冬場、歩ける状態の街か調べた。その結果、とても危険が多く車社会の状態の街で、歩行者には実に動きにくい街であるという結論を出した。

ただ、色々な機関や民間と連携し行政サービスを受ける時代は、そう遠くないうちに来る。行政側がそれを早く感知して、市民からそういう期待が掛かる前に展開していく事が望ましいが、そうなっても市庁舎がいらぬ事にはならない。

(委員)

人口も減り続けていて、その中で、お金を使い過ぎるべきではない。60億よりも下げて考えていいと思う。今は動き易く、暫定案を組み合わせたプランにしていた方がいい。

(委員長)

第1回目にワンストップサービスについて触れた。今は市庁舎について検討しているので、市庁舎だけに求められると捉えられるが、市庁舎を取り巻く機関との連携がサービスに発展していく事を忘れてはならない。

市庁舎を違うところに持って行って、完全に行政機関が市内で分散した状態で、行政サービスが受けられるかということ、高度情報化して家に居ながらにして、そういったサービスが受けられる事でもない限り、人が動いてサービスを受けなければならない。

(委員)

分散化と言っても、庁舎に求められる機能として防災拠点がある。そうすると、大きなスペースが必要になる。分散すると、あっち行ったり、こっち行ったりと、大変困る。

(委員)

防災に関しては、情報を分散する事で、有事の場合に、片方が生き残ると考えるのが普通であって、分散する方がいい。

(委員)

災害が発生して、本部をどこに設けるかと言った時に、その機能を求められるのは市役所の中だろう。だから、大きなスペースが必要になる。

(委員長)

燕市は、合併後、郊外に市庁舎を建設する。国・県の機関と今後調整して、全体的にそちらへ動くという基本計画。私共の委員会はそのままでものではないだろうと考えている。

(委員)

今、皆様から各論が出されたが、それらを最初にやって、「だから、ここがいい。」もしくは「だから、分散化がいい。」という結論を導き出すのが、本来の委員会ではないか。あらゆる角度から見て、市民が多分言うであろう事を考慮した結果、この案にまとまったという検討をすべき会である。

(委員長)

具体的に示された面積などの数字には、特に意見はなかった。数字的なものは、事務局を信頼している表れだろう。

(委員)

一番大事なのは、誰が見ても理解し易くするという事。資料は分かり易く数字化されているが、その数字を模型に反映させてほしい。どれくらいの建物が必要か、市内にどれだけの支所があって、どういう機能があるのか見たいし、そうすると具体的な意見が出るのではないか。

### 3 その他

～ 中心市街地の立体模型について案内 ～

### 4 閉 会